

令和6年度 第3回 アーバンデザインセミナー レポート

1 セミナー概要

日時：12月12日（木）18時00分～
場所：UDCBK
テーマ：「自転車×まちづくり」
講師：OpenStreet 株式会社 工藤 智彰 様
参加者：20名

<セミナーの様子>



2 当日の様子

今回のセミナーでは、全国各地でシェアモビリティ事業を展開されている OpenStreet 株式会社より工藤氏をお招きし、シェアサイクル事業の運営や自治体との連携事例についてご講演いただきました。

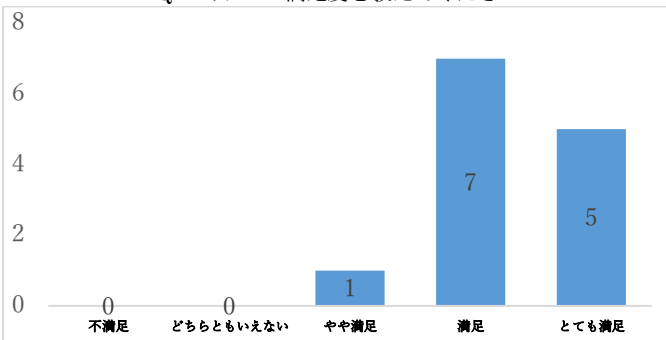
OpenStreet 株式会社が運営するシェアサイクル事業ではスマートロック・システムのみを提供をしているため、サイクルポートの設置・車体メンテナンス・車体の再配置・運営のためには企業や自治体との連携が必要になり、まちの特性に合わせた様々な運用スキームがあることを紹介いただきました。

参加者からはシェアサイクル事業に対する疑問や不安な点について、また、草津市で導入を考える場合のニーズ調査の方法や運営可能性についての質問があった。

3 アンケート結果

1) 満足度

<Q:セミナーの満足度を教えてください>



【コメント】

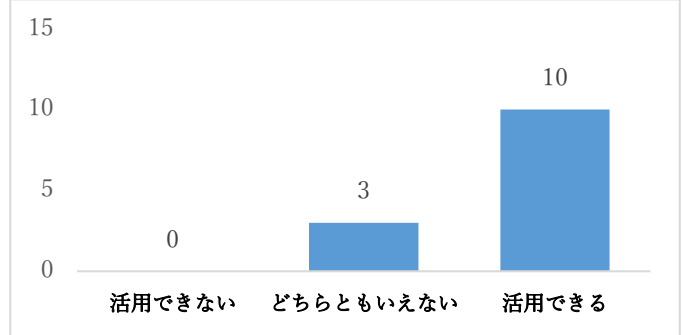
- シェアサイクリングに元々興味があり、詳細なお話を聞けたため。
- 自転車を利用する位階が普段少なく、あまりなじみがなかったが、非常にわかりやすい説明で興味深く聞くことができたため。
- シェアサイクルの事業スキームをよく理解できたため。
- 規模の大きな事業のビジネスのしくみや工夫点を聞いて勉強になった。IoT データ活用例とアプリ活用の戦

略を聞いて勉強になった。

- 地域の課題解消とシェアサイクルという仕組みをうまく組み合わせてビジネス化している点が勉強になった。
- シェアサイクルポートの最低設置数やシェアサイクルを導入している他市の事例を聞くことができたから。

2) 活用について

<Q:セミナーの内容はまちづくりや私生活で活かせるものでしたか>



【コメント】

■活用できる

- 実用的な話であると思ったため。
- 通勤時の利用など、実際に地域にあれば活用したいと思ったため。
- シェアサイクルの可能性に希望が持てました。
- 観光の2次交通として使えるようにしていけるきっかけとなるから。
- 現在進めているまちづくりプランに活かそうである。
- IoT データの活用方法が私生活（仕事）に活かせると思った。
- 駅から立命やパナソニック、琵琶湖側への移動に使えると感じたから
- 移動手段のひとつとしてシェアサイクルは検討の余地があると感じたため。

■どちらともいえない/活用できない

- 導入等の判断の一つ
- まずは地域の課題や、現状を把握する必要がある。
- 草津市で実施するならば何がキーになるかは気になりました。

4 まとめ

草津市では駅周辺における交通渋滞やバスの減便による公共交通の補完等が問題となっているが、自治体と交通事業者との連携により公共交通を補完するためにシェアモビリティを導入する事例や地元事業者と連携し利益相反を起こさない工夫を紹介いただき、シェアサイクルが課題解決の手段になると期待を感じた。

アンケートにおいては、草津市で観光や通勤通学に利用できるという意見が多くみられ、市民や関係者の導入に対する前向きな様子が見られるとともに、質問応答において、草津市はシェアサイクル導入の目安となる人口や交通結節点の分布の条件を一定満たしているとのコメントがあり、導入の可能性を感じる事ができた。

全国のUDCの中にはシェアサイクル事業を運営している事例もあり、条件や課題を整理しながら、まちの魅力向上につながるアイデアの一つとして市の関係課と連携して議論を進めたい。